

< 基本的な考え方 >

「選択と集中」により、当面の財源不足を解消するだけでなく、安全安心の確保、社会的弱者への支援や新たな行政ニーズなどに的確に対応し、「安心して暮らせ、人や環境にやさしく、元気な“とちぎ”」の実現を目指します。

次の事業は、集中改革期間中においても配慮し、引き続き実施します。

〔安全安心な“とちぎ”づくりのために〕

女性自立支援センター（仮称）整備費	（総事業費	7億円）
小児休日・夜間急患センター等運営事業費	（H22～H25	2億円）
病院群輪番制病院運営事業費	（H22～H25	5億円）
第三次救急医療対策費	（H22～H25	22億円）
総合周産期母子医療センター運営事業費	（H22～H25	11億円）
とちぎ子ども医療センター事業費	（H22～H25	35億円）
足利赤十字病院整備助成費	（助成総額	41億円）
大田原赤十字病院整備助成費	（助成総額	42億円）
医学生修学資金貸付事業費	（H22～H25	3億円）
新型インフルエンザ対策緊急推進事業費	（H22～H25	18億円）
ドクターヘリ導入促進事業費	（H22～H25	7億円）
浄化槽設置整備費	（H22～H25	11億円）
耐震改修促進事業費（民間住宅の耐震化促進）	（H22～H25	7億円）
防災拠点の耐震化（県有建築物）	（H22～H25	81億円）
高等学校校舎耐震化対策事業費	（H22～H25	21億円）
捜査用警察車両の計画的更新経費	（H22～H25	3億円）
通学路の歩道整備	（毎年度	30km）

〔やさしい“とちぎ”づくりのために〕

私立高等学校授業料減免補助金	(H22～H25)	4億円)
幼稚園特別支援教育費補助金	(H22～H25)	12億円)
育成医療費補助金	(H22～H25)	1億円)
母子保健医療費補助金	(H22～H25)	1億円)
第3子以降保育料免除事業費	(H22～H25)	10億円)
障害児(者)在宅福祉費(重心医療費補助金)	(H22～H25)	56億円)
小児慢性特定疾患治療研究事業費	(H22～H25)	1億円)
特定疾患医療費(県単独指定疾患分)	(H22～H25)	1億円)
児童健全育成事業費	(H22～H25)	44億円)
本県独自の少人数学級推進に係る経費	(H22～H25)	119億円)
スクールカウンセラー活用事業費	(H22～H25)	6億円)
環境立県の推進		

こども医療費補助金(所得制限の導入、入院時食事療養費助成の廃止を行ったうえで、小学6年生まで拡大)	(H22～H25)	77億円)
妊産婦医療費補助金(所得制限を導入し、継続)	(H22～H25)	9億円)

〔元気な“とちぎ”づくりのために〕

産業活性化金融対策費(中小企業向け制度融資)(H21新規融資枠 1,014億円)		
小規模企業経営支援事業費	(H22～H25)	70億円)
中小企業組合等経営支援事業費	(H22～H25)	6億円)
科学技術高校整備費	(総事業費)	137億円)
グリーンスタジアム整備費	(総事業費)	13億円)
全国スポーツ・レクリエーション祭開催費	(総事業費)	5億円)
次期総合計画の策定		
総合スポーツゾーン整備の検討		
ねんりんピックの開催準備		

企業立地促進事業費(不動産取得税相当額へ見直し継続)(H22～H25)		26億円)
農業試験場再編整備事業費(一部改修工事を休止のうえ実施)	(H22～H24)	16億円)